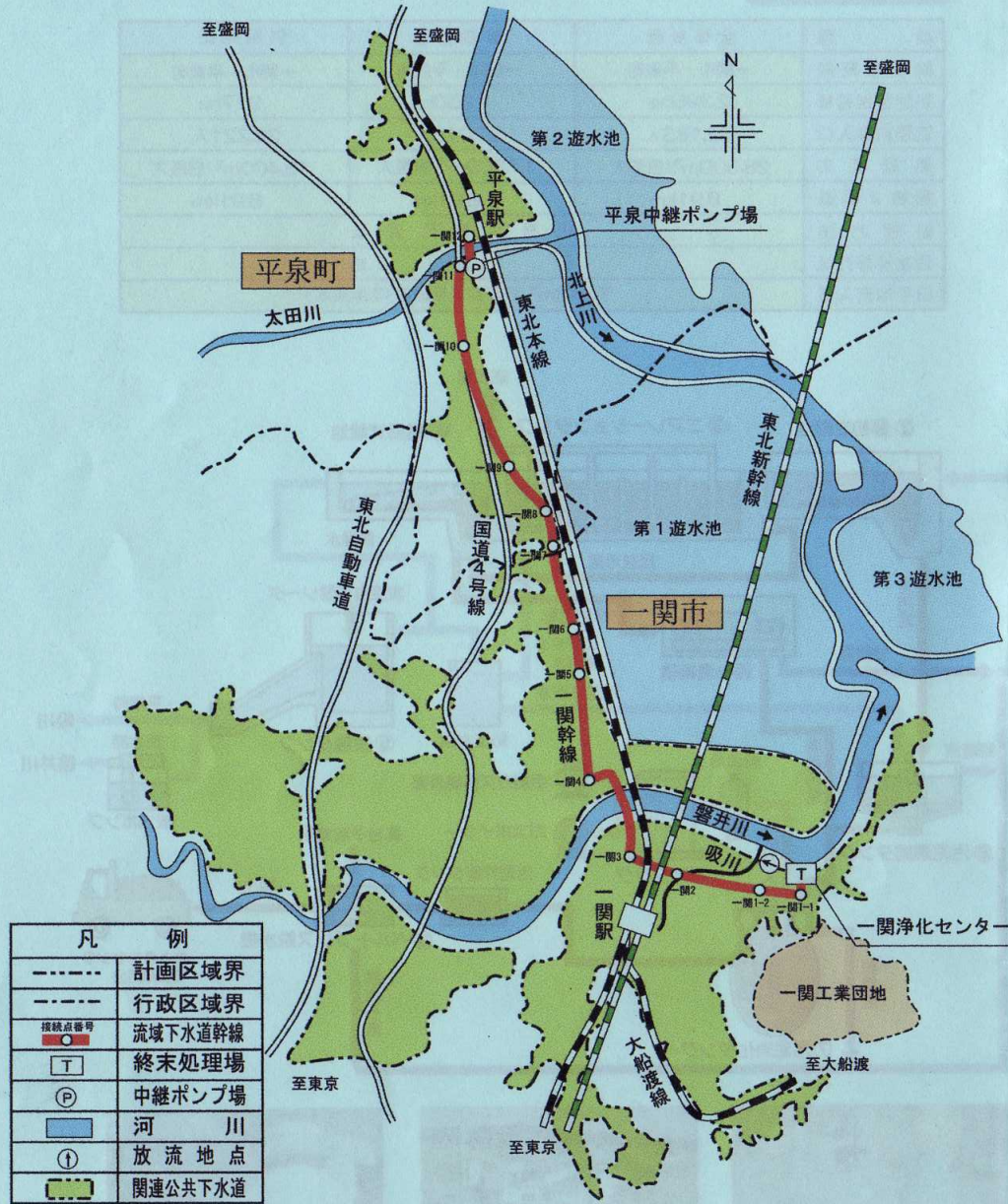


処理区域



〒021-0002 岩手県一関市中里字南谷起6の4
磐井川流域下水道 一関浄化センター

TEL0191-26-4662・FAX0191-26-0904
(URL) <http://www.isf.or.jp/>

磐井川

流域下水道

一関処理区

岸边青々清き流れをいつまでも

岩 手 県
(公財)岩手県下水道公社
ウォーターエージェンシー・東北公営JV

快適で住みよい町づくり



はじめに

北上川は、岩手県の北部岩手町に源を発して県の中央部を北から南へと流れ、宮城県で太平洋へと注ぐ国内有数の大河川です。

岩手県内の北上川流域には、盛岡市をはじめとする14市町村がふくまれ、県内総人口の半分以上が集中しています。この地域の家庭・工場からの排水を処理して北上川にもどし、快適な生活を営み、明るく住みよい環境づくりを進めることが求められています。

下水道はこの目的のために大きな役割をはたしています。

ここでは、磐井川流域下水道の一関処理区（一関、平泉地区）について紹介します。

一関処理区の概要

関係市町村

一関処理区は、一関市及び平泉町の1市1町を対象としています。

経過

昭和57年 事業着手
平成2年4月 一関市供用開始
平成7年10月 平泉町供用開始

一関浄化センターのしくみ

①沈砂池・主ポンプ

各家庭、事業場から排出された下水は、ここで大きなごみや土砂を取り除き、ポンプで最初沈殿池へ送ります。

②最初沈殿池

下水をゆっくり流して、沈みやすい細かいごみなどを取り除きます。

③エアレーションタンク

下水に活性汚泥を加え空気を吹き込みかき混ぜます。活性汚泥中の微生物の働きによって汚れの主成分である有機分は分解され、下水はきれいになります。

④最終沈殿池

下水をゆっくり流して、活性汚泥を沈殿させ、きれいな上澄み水と分離します。

沈殿した活性汚泥は再びエアレーションタンクに送り、余った汚泥は汚泥処理施設に送ります。

⑤接触タンク

きれいになった水は消毒、滅菌して吸川を経て磐井川に放流します。

⑥汚泥濃縮設備（濃縮タンク・遠心濃縮機）

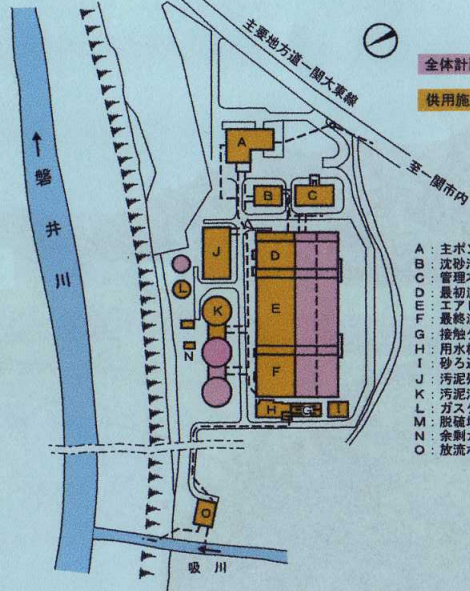
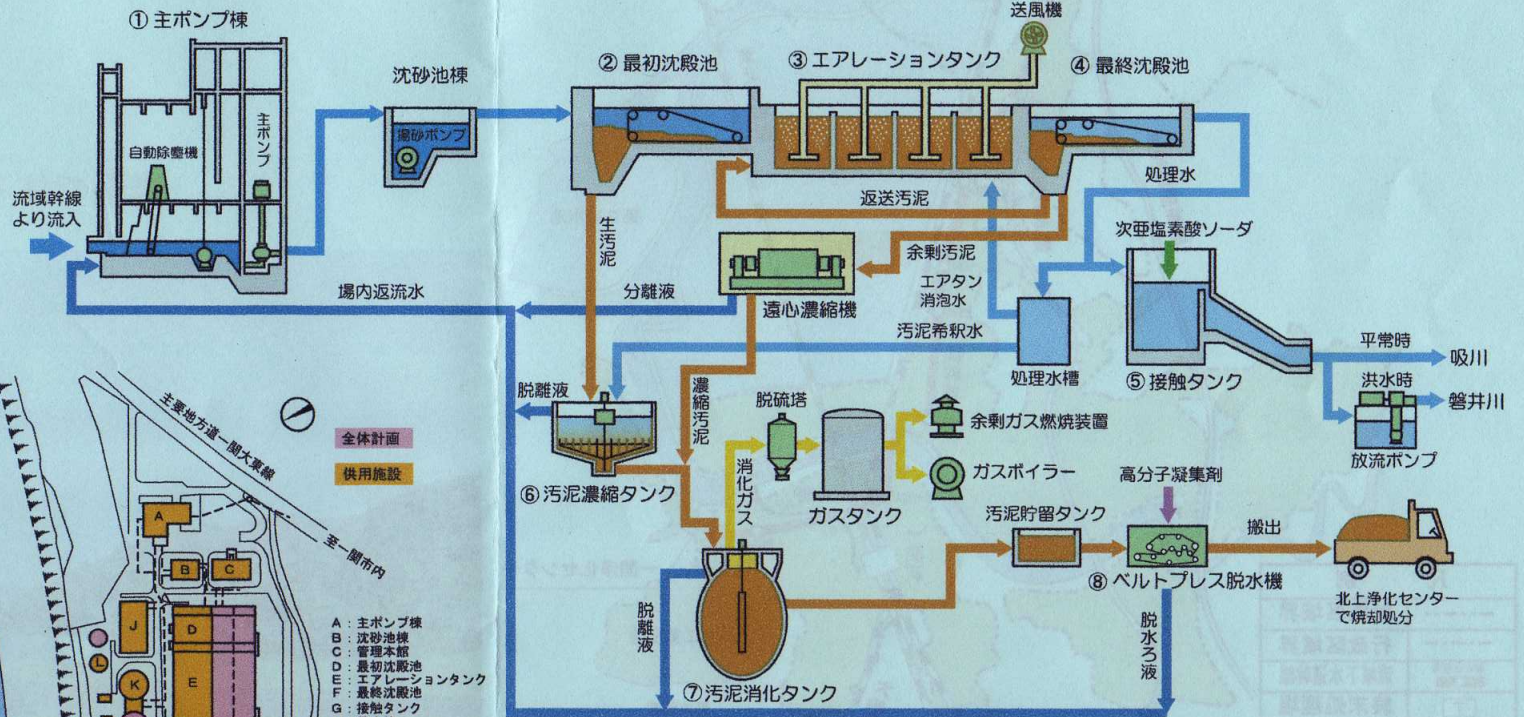
沈殿池で沈んだ生汚泥、余剰汚泥を重力や遠心力を利用して濃縮します。

⑦汚泥消化設備（消化タンク・ガスタンク）

濃縮された汚泥は、嫌気性の細菌や微生物の働きによって、汚泥中の有機分を分解して減量します。発生したガスは、消化タンクの加温に利用します。

⑧汚泥脱水設備（ベルトプレス脱水機）

消化した汚泥から水分を取り除きケーキ状にします。



事業概要

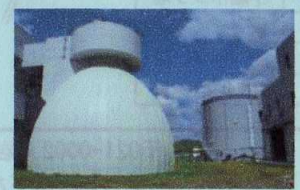
項目	全体計画	事業認可	供用開始
関係市町村	一関市・平泉町	一関市・平泉町	一関市・平泉町
処理区域面積	2,396ha	1,250ha	917ha
処理対象人口	52,183人	37,010人	28,221人
処理能力	28,000m ³ /日最大	17,300m ³ /日最大	13,400m ³ /日最大
管きよ延長	8.91km	8.91km	8.91km
処理方法	標準活性汚泥法		
汚水排除方法	分流式		
日平均流入量	7,848m ³ /日平均（平成23年度実績）		



主ポンプ設備



水処理施設



汚泥消化タンクとガスタンク